

平成29年度第1回座間市地下水採取審査委員会会議録

- 1 日 時 平成30年2月5日（月） 午後3時～3時50分
- 2 場 所 座間市役所 ふれあい会館2F 81会議室
- 3 出席者 委 員 守田委員長、村田副委員長、宮下委員、大矢委員
事務局 環境経済部長、環境政策課長、環境保全係長、主事
- 4 公開の可否 公開 一部公開 非公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 題 ・地下水総合調査に係る経過報告について
・その他
- 7 配布資料 ・次第
・平成29年度座間市地下水総合調査事業委託 全体業務計画（5ヵ年計画）の概要
・座間市環境基本計画年次報告書[平成28年度報告]

8 議 事

(1) 開会のあいさつ

- ・環境経済部長

(2) 地下水総合調査に係る経過報告について

① 事務局説明

平成29年度から平成33年度にかけて実施する地下水総合調査事業については、公募型プロポーザル方式を経て、パシフィックコンサルタンツ（株）と平成29年7月31日付けで契約を締結しました。5年間の委託金額は45,079,200円となり、神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金にて、全額賄われます。

現在は、平成29年9月26日開催の第2回地下水保全連絡協議会において承認された、5か年の全体業務計画に沿って事業を実施しています。

② 質疑応答

- ・守田委員長

ボーリング調査及び新規観測井戸の設置は、何地点で行いましたか。

- ・事務局

3地点です。ボーリング調査を実施した地点に新規観測井戸を設置しました。

- ・守田委員長

本年度の事業報告書が完成するのはいつ頃ですか。また、どのような内容が示されるの

でしょうか。

・事務局

2月末日までに納品される予定です。内容としては、ボーリング調査、雨水浸透ますの簡易浸透能調査など、主に現地調査に係る結果が報告される予定です。

・守田委員長

報告書に基づいて次年度の計画を決めていく訳ですか。

・事務局

そうなります。地下水保全連絡協議会に図りながら、計画を進めていきます。

・守田委員長

報告書が納品された段階で、専門家である本委員会の皆様にも読んでもらい、こうした方が良いという意見を踏まえて、次年度の計画をつくることは可能ですか。

・事務局

可能です。

・守田委員長

全額が県費補助という事ですが、報告書以外に県に提出するものはありますか。

・事務局

補助金に関する実績報告を提出します。

・宮下委員

最終的に構築した三次元水循環解析モデル（以下、GETFLOWS と呼ぶ。）を用いて、地下水流動解析を行うという事業内容ですが、本委員会で使用していた旧モデル（MODFLOW）と比べて、GETFLOWS はパラメーター設定が多く、市単独でシミュレーションすることは難しいモデルだと考えます。その点については、どのように検討されていますか。

・事務局

GETFLOWS の簡易版システムであるメタモデルの作成も検討しましたが、その費用には、1,000万円以上かかるということです。そのため、シミュレーションについては外部委託を検討しています。なお、参考までに、1回の委託料は10～20万円程度とのことです。

・守田委員長

座間市は雨水浸透ますの普及率が非常に高いと思いますが、その機能を維持できるような手法等のPRは行っていますか。

・事務局

市民が雨水浸透ますの清掃活動を実施できるよう、日常の生活用品（おたま等）を活用した清掃案内を作成し、市のHPで公開しています。また、市主催のイベント時に、清掃

案内のチラシを来場者に配布するなど、PRに努めています。

・大矢委員

座間市のような地下水調査は、他自治体でも行われているものですか。

・事務局

近隣では秦野市が、地下水調査を行っていますが、地形構造が盆地となっている秦野市と、広域的に地下水が流動している座間市とは状況が異なります。

・守田委員長

その点では、座間市の方が他の自治体にも応用できる一般的なモデルと言えます。

また、私の知る限りでは地下水の管理自体を行っている自治体が少ないのが現状です。地下水ではなく、河川に主体をおいた調査なら盛んに行われているようです。

・宮下委員

地下水位について、近隣自治体での現地調査も行っているのですか。

・事務局

地下水位一斉調査として、大和、海老名、綾瀬市で地下水位測定を実施しました。

また、上流域である相模原市については、同様の水位測定を実施しているとのことなので、測定結果の提供を依頼しています。

・宮下委員

近隣自治体での水質調査は実施していますか。

・事務局

地下水位調査の際に簡易水質調査を実施しました。

・宮下委員

GETFLOWS の解析領域はどのように考えていますか。

・事務局

座間市地下水保全基本計画改定時と同等以上の範囲を想定しています。

・守田委員長

座間市の湧水量について、例えば戦前と比較して、減少しているのでしょうか。

・事務局

詳細なデータはありませんが、減少しているという話は聞きます。

・守田委員長

座間市の水循環の改善を行うにあたっては、どこを目標にするのか、例えば戦前の頃のような湧水が流れている光景を目標にするのかななどを、決めておかないといけないと思います。

その中で、湧水量の回復というのは目標の一つと言えます。GETFLOWS を活用すれば、湧

水を増やすために何が必要なかをシミュレーションすることが可能なので、今回の調査を今後に繋げていければと思います。

(3) その他

・村田副委員長

リニア中央新幹線の関係で、何か進展はありました。

・事務局

特にありません。今年度はシールド機械の発信基地となる立坑を掘削するための準備工事を実施しています。J R東海のホームページも確認していますが、それ以外の大きな進展はありません。

本委員会からJ R東海に要望していた、地下水に関する調査結果等については、結果がまとまり次第、J R東海から座間市に情報提供を頂けるということで、調整しています。

・事務局

座間市環境基本計画年次報告書[平成28年度報告]を委員に配布し、平成28年度の地下水保全施策の実績報告を行った。

・宮下委員

市内で毎年どのくらいの揚水があったのかというデータ収集は行っていますか。

・事務局

地下水採取事業者より、年2回、地下水採取量報告書が提出されますので、揚水量データは収集しています。

・守田委員長

今後は、最新の揚水量を委員会で報告して貰えるとよいと思います。

・事務局

対応できるよう、検討します。